

各分団が火災に備え訓練実施

秋季全国火災予防運動 串本町消防団秋季訓練

11月14日、串本町消防団の秋季訓練が町内の各分団で実施された。

この訓練は、全国秋の火災予防運動に合わせ、各分団の連携強化を目的に毎年実施しています。

今回は、午前9時から順次、町内11分団にて消防訓練を行うとともに、午前11時からは西向分団が旧古座川病院跡地で遠距離中継送水訓練を行いました。

遠距離中継送水訓練では、西向分団の計29名が参加。町消防本部、



放水するため川から取水する和深分団の訓練の様子



裏山まで延長した消防ホースから放水する団員

古座消防署職員が見守るなか、団員たちは、病院跡地から古座消防署裏、裏山にわたり消防ホースを連結・延長して放水作業を行い、懸命に訓練に取り組んでいました。

訓練終了後、串本町消防団の稲田賢団長は、「皆緊張しており、上手くいったところもあれば手間取ったところもあったと思う。これから火災が発生しやすい時期となる。団員には気を引き締めて取り組んでもらいたい」と今後の団員の活躍に期待しました。

毎年恒例のネット張り

橋杭海水浴場 防砂ネット設置

橋杭海水浴場で12月8日、南紀串本観光協会による防砂ネット設置が行われました。この作業は、冬場の強風により砂浜の砂が周囲へ飛び散らないよう毎年実施しています。

今回は同協会・役場産業課職員等11名が参加し、約110mにわたり、高さ1m・長さ約10mのネットを計17枚設置。同協会の島野利之会長は「砂浜は風の影響をとても受ける。近隣の方のご迷惑とならないよう設置に努めます」と話し、作業にとりかかっていました。



橋杭海水浴場の砂浜に金属性の杭を打ち、ネットを張って固定していく会員等の様子

自身の健康に目を向けて

健康教室「COPDと喫煙」

12月9日、例年開催されている保健センター主催の健康教室が串本町役場で開かれ、くしもと町立病院の秋山裕由医師による講演が行われました。

今年のテーマは「慢性閉塞性肺疾患（COPD）と喫煙について」。喫煙により気管支や肺が炎症を起し、咳や痰が多くなったり、空気をうまく吐き出せずに息切れになってしまふことなどを、秋山医師は古くなったゴム風船やヘチマを使用して説明。約50名の参加者が聞き入っていました。



ヘチマを用いて、肺がスカスカのヘチマの状態になってしまうことを伝える秋山医師

22年末を目標にロケット1号機打ち上げ

スペースポート紀伊周辺地域協議会 臨時総会

ホテル&リゾート和歌山串本で12月11日、行政・関係団体からなるスペースポート紀伊周辺地域協議会の臨時総会が開催されました。

本総会では、「スペースポート紀伊」を運営するスペースワン株式会社、2021年度中としていた初号機打ち上げの時期を延期し、2022年末を目標とする」と発表。延期の理由として、新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延したことで、必要な部品や機材が届かず試験や作業が滞ったこと



臨時総会の会場の様子

が説明されました。同社の阿部耕三取締役は「準備をしてくださっていた皆さまには大変申し訳ない。地元の皆さまと一緒に地域発展に貢献していきたいという気持ちは変わりません」と思いを語り、射場の主要施設についてはほぼ完成していると伝えました。

同協議会会長の下宏副知事は、「昨今のコロナの状況を踏まえれば致し方ない。引き続き事業を支援し、初打ち上げを成功につなげたい」と話しました。



総会にて挨拶する下副知事

串本 JFC が JFA 第45回全日本 U-12 サッカー選手権大会の全国大会出場決定！

サッカースポーツ少年団の串本 JFC が「JFA 第45回全日本 U-12 サッカー選手権大会」の和歌山県大会において初優勝し、全国約8,200チームの頂点を決める全国大会への出場権を獲得しました。



12月3日には、町長室へ表敬訪問に来てくださったチームの選手一人ひとりが全国大会に向けて「全力で戦いたい」「決勝リーグに進みたい」「いい声を出して先に点を取り、みんなを盛り上げていきたい」など意気込みを語ってくれました。

田嶋町長は「県で1番になったということがまず素晴らしい。コロナ禍で落ち込んでいた状況を打破してくれるようで本当に心強い。ぜひとも素晴らしい試合をして、できることなら8,200チームのトップになってほしい」とエールを送りました。